

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選

その29 文：長谷沼 せいきち 清吉さん

向山のお薬師今昔物語

向山のお薬師様は旧暦の8月8日、近郷近在から二つ児参りで多くの参拝があり、店も出て、にぎわっていたようですが、今では少子化も進み、ひっそりとたたずんでいます。

その昔、滑沢の正源寺の川向かいの中野に三十坊の寺院があったとされています。文治5年（1189）、源頼朝が平泉を攻め滅ぼした時、会津四郡を佐原義連らに与えました。その時に寺領を没収されて一寺一堂（正源寺）を残すのみになったといわれています。

寺領を没収された寺の1つ西新寺の僧が山口姓に改め、向山に薬師如来を製作したのが薬師堂の始まりとされています。

それから長い歳月が経ち、正源寺は伽藍も大破してしまい、見るに耐えない姿になってしまいました。薬師堂の是心は正源寺再建のため、各地を巡り歩いて寄進を募りました。この時、杉山村の三次郎は5両を寄進しています。そのおかげで、享保3年（1718）、本堂を再建し、梵鐘も新しく設けたといわれています。この梵鐘も先の大戦時に供出されて、今はありません。なお、この貢献により、以後山口家は正源寺への負担は一切ないとされています。

明治元年（1868）、戊辰戦争に負けるとヤーヤー一揆が起き、



新郷でも10月19日から21日にかけて肝煎宅を襲い、水帳（土地の一筆ごとに字名・地目・等級・面積・石高・耕作者などを記載した台帳で、これに基づいて年貢等を課した）などを燃やしています。一揆が終息すると、22日に新郷谷の人々は薬師堂の広場に集まり、今後の対策について相談しています。

不思議なことに、薬師堂の真ん前に山口家の住宅が建っています。



現在の向山薬師堂



中に安置しているお薬師様

お知らせ
昨年12月から運用を開始した西会津町の公式フェイスブック「なじよな町、西会津。」と、公式ホームページのQRコードを掲載します。皆さん、この機会にぜひご覧ください。



今月の表紙
今月の表紙は、8月15日に野沢マイロードで行われた夏の風物詩、野沢ふるさと夏まつり盆踊り大会から。浴衣姿で踊る踊り手の皆さんの、しなやかで美しい手の動きが印象的でした。（11ページに関連記事）